



「進路面接に思うこと」

～あきらめたらそこで面接終了だよ～

今年も順調に3年生の進路が決まりつつある冬休み前、本校生徒にとって、就職・進学問わず、最重要となる面接試験。1・2年生の諸君にも、ぜひ知っておいてほしいアドバイスを3つ贈る。

まず1つ目は、発言はなるべくコンパクトに、だ。相手の面接官はあなたとはほぼ初対面のはずだが、初対面の相手が話している内容を、どれだけ聞いていただけるだろうか。1分も聞いていたらだんだん飽きてきて、2分を超えると質問自体を忘れかねない。1分アピールはさておき、長くても30秒である。短いと感じるかもしれないが、この文章の1～6行目まで音読すればだいたい30秒である。意外に長い。

2つ目はあいづちだ。あなたは面接官の話しを聞いているとき無言でいるつもりだろうか。逆の立場ならどうか。あなたが相手に説明したり質問したりしているときに、相手が無言でただ見つめてきたらどう思うだろう。たとえば「はい」だとか、「そうですね」だとか。ちょっとしたあいづち1つが面接の場でのコミュニケーションを円滑にするし、あなたの答えにもリズムや元気が出るはずだ。

そして最後の3つ目は、必ず面接中は1度は失敗する、だ。約5～30分の面接の中で、入室から退室まで、失敗しない高校生など誰1人としていない。1度どころか、3、4度失敗する人も珍しくない。途中でミスに気づいて

「あーもうダメだ」と思ってあきらめてしまったら、とてももったいない。ミスは誰にでもつきものであるし、面接官が見ているのはミスした後の行動である。あきらめないで落ち着きを取り戻せるか、また立ち上がって質問にどんどん答えられるか、を彼らは注目する。あきらめることなく、最後まで食らいついて、多少のミスは織り込み済みでのぞもう。



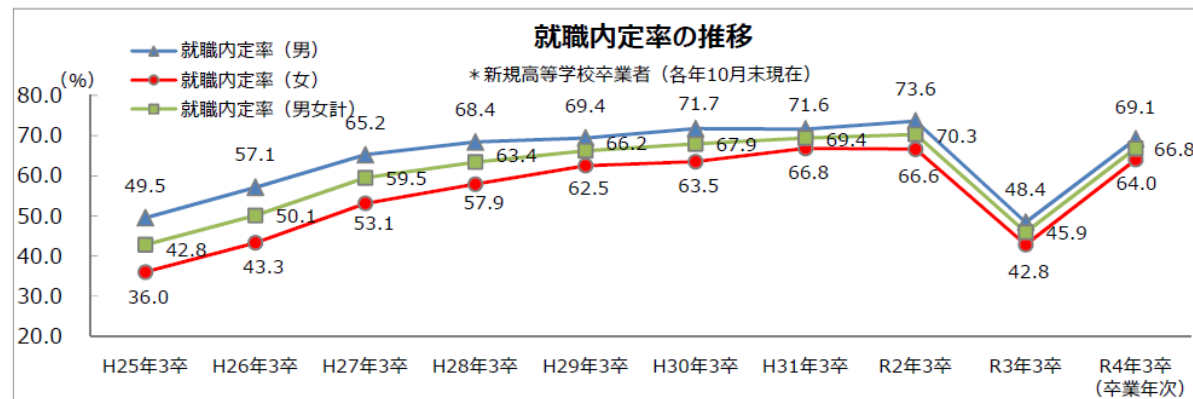
1・2年生の保護者の皆様へ

2年生は半年後、1年生はあと1年後までには卒業後の進路について具体的なイメージを持ってもらいたいと考えていますが、ご家庭でお子様の進路について話し合う機会を設けていらっしゃるでしょうか。特に進学をお考えの場合には、進学にかかる費用はいくらで、どのように支払うのか（一括か分割か）や親元を離れて暮らす場合には住居に係る費用などについても考えなくてはなりません。この冬休みを利用して、将来の具体的なイメージについてご家庭でお話してみてください！

就職内定状況（10月分）

北海道労働局の10月末の調査によると、就職内定率は66.8%となりました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によって就職試験の解禁が後ろ倒しとなったため、単純には比較できないものの、前年同月比で20.9ポイント上昇しています。なお、一昨年と比較すると、ほぼ同水準となっています。

就職を希望しているものの、希望する職種の求人を待っている人や、自分どの職種に向いているのか分からずに迷っている人は、担任の先生や進路指導担当の先生、友人などに相談すると、何か気付きがあるかもしれませんので、是非、相談してみてください。



1月の進路行事

- 15日（土）大学入試共通テスト
- 16日（日）大学入学共通テスト
- 19日（水）探究アワード地方審査会（全道大会）